

(市長記者会見資料)



令和5年度 12月補正予算



京都市

令和5年12月20日

行財政局財政室
(TEL222-3291)

補正予算のポイント

**物価高騰への更なる対応、市民生活の安心安全対策を強力に推進！
国の「デフレ完全脱却のための総合経済対策」の財源等を最大限確保！**

ポイント

➤市民生活・事業者の下支えにつながる物価高騰対策

これまでの度重なる支援に加え、更にきめ細かな支援を実施

➤市民生活に直結する防災・減災、老朽化対策（道路、公園、学校など）

国への徹底した要望により、国の財源をこれまで以上に確保

※道路・橋りょう、河川、公園等の国補助金
→前年度の2.5倍を確保

<補正予算の規模>

79億円（補正前：1兆8,326億円 ⇒ 補正後：1兆8,405億円）

財源：国臨時交付金：21億円、国庫支出金：20億円、補正予算債36億円

具体的な実施内容（主なもの）

1 市民生活・事業者の下支えにつながる物価高騰対策 21. 1億円

（1）子ども食堂等に取り組む団体への支援 1, 200万円

子ども食堂等に取り組む団体に対し、物価が高騰する状況下においても安定的に取組が実施できるよう支援を行う。

<支援内容>

- ・ 子ども食堂等：3万円～10万円（条件により支援額は異なる）
- ・ 子育て世帯への食品配送事業者：50万円

(2) 福祉施設・子育て施設等における運営費・食材費高騰に対する支援

8. 7 億円 【年間5 2 億円を計上】

直近の急激な物価高騰を鑑み、運営費等に対する追加支援を実施

< 支援内容 >

- ・ 運営費高騰に対する追加支援：5.7億円
(参考：支援額) 5月補正：15億円＋9月補正：18億円
- ・ 食材費高騰に対する追加支援：3.0億円
(参考：支援額) 当初予算：4億円＋9月補正：7億円



(3) 中小企業デジタル化・D Xの推進

2. 0億円

京都経済を支える中小企業等の持続可能な経営に向けた生産性の向上・業務の効率化等を図るため、専門家を交えて検討したデジタル化・D Xの取組を支援する。

< 支援内容 >

➤ デジタル化の推進

- ・ 基礎的なデジタル化に対する支援
(例) ・ 会計・労務・業務のシステム化やE Cサイトの構築
- ・ 補助上限100万円、補助率2/3

➤ D Xの推進

- ・ デジタル技術を活用し、業務・組織を変革するD Xの取組への支援
(例) ・ A Iを組み込んだ宿泊予約システムによる宿泊価格等の調整と決済の自動化
・ E Cサイトを核とする、在庫管理、受発注、請求事務等の一元化システムの構築
- ・ 補助上限200万円、補助率1/2



(4) 公共交通における運行維持確保緊急対策（追加支援） 1.6 億円【年間6億円を計上】

燃料費高騰等により厳しい経営状況にある公共交通事業者に対して、運行維持に向けた支援を実施

< 支援対象 >

地域公共交通（民間バス等・地域鉄道）、市バス・地下鉄

（参考：支援額）当初予算：4.2億円を支援



(5) 切れ目のない市民生活・事業者の下支え（令和6年度実施分） 7.8 億円

急激な物価高等が当面続く見込みの中、令和6年度も切れ目なく、市民生活・事業者の下支えをするための施策を講じることとし、所要財源を財政調整基金に確保

< 積立内容 >

- | | |
|----------------------------|-------|
| ・ 学校給食の食材費高騰への対応 | 4.4億円 |
| ・ 公共交通における運行維持確保対策 | 2.7億円 |
| ・ 物価高等に対応するための中小企業相談窓口体制強化 | 0.7億円 |

※ 9月補正予算において、独自財源（決算黒字等）を活用し、国に先駆けて実施した物価高騰対策に、今回の国臨時交付金を充当。捻出できた財源を翌年度に活用するため、基金に積み立てるもの

2 防災・減災・老朽化対策など安心・安全対策 57.8億円

(1) 防災・減災対策等（道路・橋りょう、河川、公園等） 25.2億円

市民の皆様のいのちと暮らしを守るため、市民生活に身近な道路、橋りょう、河川、公園等の補修・補強工事等を実施

主な実施箇所	
道路・橋りょう <約18億円>	
	後院通の無電柱化、堀川通・川端通の道路補修 今熊野橋・宮前橋の耐震補強、老朽化修繕 など
河 川 <約4億円>	
	高瀬川再生プロジェクトの推進（護岸の整備工事） 西野山川の護岸の整備工事 など
公 園 <約2億円>	
	公園魅力アッププロジェクトの推進（遊具更新、樹木更新）
区画整理 <約1億円>	
	伏見西部第四地区、伏見西部第五地区の整備

国へ徹底した要望！
→昨年度比の
2.5倍の補助金を確保

<参考>国内示率
R④43%→R⑤65%

(2) 学校施設の安心・安全対策の推進 32. 2億円

子どもたちが安心して学べるよう、老朽化した校舎の長寿命化対策や、トイレ改修など、学校施設環境を改善

<主な実施内容>

- ・ 学校校舎の長寿命化
- ・ 快適トイレ整備など学校維持修繕
- ・ 蛍光灯等のLED化 など



(3) 鉄道施設の老朽化対策への支援 4,200万円

地域鉄道事業者が実施する老朽化対策に対して支援を実施

<主な支援内容>

- ・ 線路設備、信号保安設備等の更新工事 など